

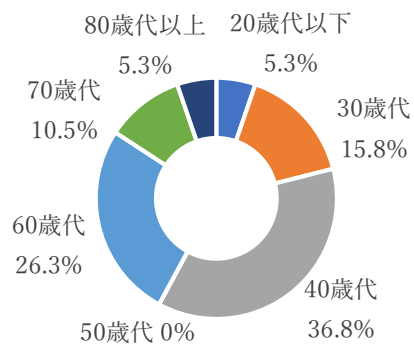
令和5年伊豆の国市議会報告会 アンケート集計表

(会場参加者 21 人のうちアンケート回収 17 人、インターネット配信のアンケート回収 2 人)

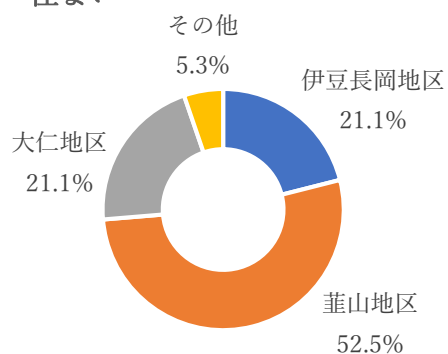
問1 性別



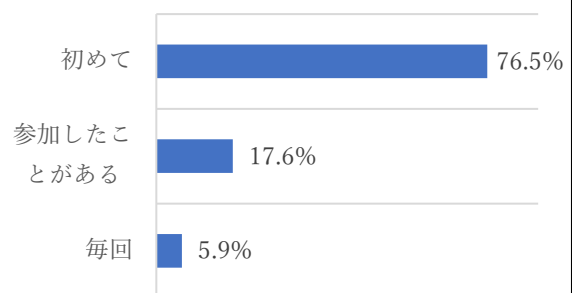
問2 年齢



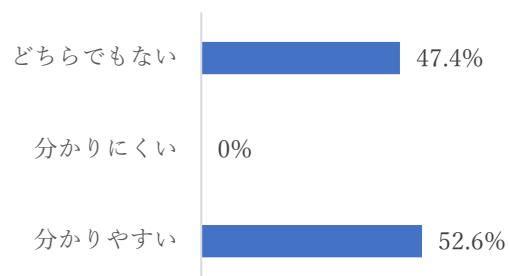
問3 住まい



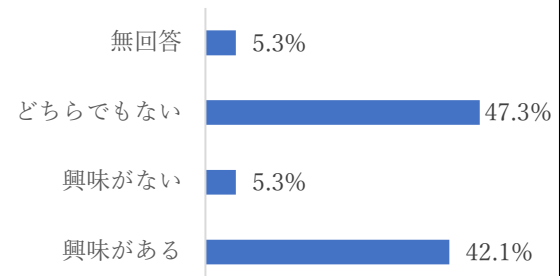
問4 議会報告会の参加（会場参加者のみ）



問5 議会報告会の内容



問6 インターネット配信



問7 グループ討議に参加してのご意見や、本日の議会報告会で発言

できなかったご意見等がありましたらご記入ください。

- ・現在、努力義務である自転車ヘルメットについてほぼ強制になっている。補助金などあれば助かる。
 - ・新歴史資料館について、江川邸横に新しい施設をつくったばかりなのになぜ？という声があるとの話題があった。江川邸横の施設は江川文庫で市とは別の施設であることなので、丁寧な説明が求められていると感じた。
 - ・新しい資料館は誰もが自由に活用できる空間を設け、コミュニティの場となれるよう配慮を。
 - ・福祉のこと。老人施設はあるけれど障がい者施設がない。受け入れる場所が必要では。
 - ・歴史の施設は、反射炉や江川邸でよいのでは。新たにつくる理由を市民に説明してほしい。
 - ・20～30歳の若い方は、子どもが小さいとなかなか選挙に行くことができない。授乳中、寝かしつけ中など玄関にすら行けず、インターホンにも出られない。訪問投票もひとつの案だが、インターネット投票をすすめてほしい。
 - ・森林を整備して、子どもたちが遊べる施設をつくって。にぎわいができる。
 - ・市民参加できる行政（シニアの活用）
 - ・参加した市民が少なかった。もっと多くの人の意見を聞きたかった。
 - ・韮山農村改善センター2階の調理室がとても汚い。オープンなど何年も故障したまま直していない。フライパンなど備品も汚い。一度見に行ってほしい。
 - ・子育てにやさしい市になればよいと思う。
 - ・予算との兼ね合いもあるが、街灯を増やしてほしい。
 - ・とにかく情報発信をもっとしてほしい。
 - ・合併でなくなる幼稚園を子どもの居場所に活用してほしい。（共和も田京も新しい施設なのにもったいない。）
 - ・幼稚園合併について。田京の方が新しく定員数も多いのに、のぞみが残るのは、のぞみに通う地区の人口が多いからだと言った教育委員会から聞いた。共和が富士美と合併してなくなり、ちょうど共和、田京に近い地区の世代がその幼稚園に行くのも不便となっている。車が必須になるし、どんどん子育てしにくい地区になってしまうのではないと思う。新しい施設の活用を願う。
 - ・地区の高齢化は地区が廃れる。
 - ・移住したくなる市ではない。
- 伊豆の国市は好きだが、主人の地元でなかったら特に住みたいとは思わない。

- ・宗光寺川が台風であふれる問題は結局変わらないのか。前回台風で浸水した後に、なにか工事をすると書いていたので。
- ・市の幹部と市役所実働部隊の間にギャップがあると感じる。
- ・伊豆市の子育て支援（保育料 2 人目免除など）が充実しているが、伊豆の国市は何もしないのか。

問 8 市議会に対するご意見、ご提言などがありましたらご記入ください。

- ・市民の声、現場の実情をつぶさにウオッチして市政に反映してほしい。
 - ・観光、歴史も大切だが、今を生きる市民のためにお金（税金）をつかってほしい。
 - ・子育てに目を向けたまちづくりをよろしくお願いします。
 - ・グループ発表中に議員席の方々が話をしていて聞き取りにくくなって不快だった。
 - ・伊豆の国市をより良い市にしてください。
 - ・古屋議員の議会報告ニュースにある「補聴器の購入費助成制度」とあるが、これが検討できるのであれば、子育て世代への助成制度もあってよいと思う。（例：チャイルドシート、ベビーカー購入補助など）
 - ・広報に伊豆の国市の情報を流していると思うが、今の時代、若い方たちなど書面を見ることは少ないのではないか。他人まかせの生き方もいけないと思うが、意識している人は少ない。意識がない方にもわかるような情報提供をしてほしい。
 - ・どうしたら市民に災害時のことなど伝わるか考えてほしい。LINE 登録していない人もいるため。
 - ・議会報告会で写真を撮っていたが、何に使うのか。個人情報になるので気を付けてください。
 - ・人を集めるだけの報告会ではなく、地域に出向いて定期的に報告会、意見交換会をおこなってもらいたい。
 - ・来年度に向けて伊豆の国市観光協会の予算を作成中。現在、市当局からは「人件費を含め 10% の市からの補助削減」を求められている。当たり前のことながら、今後毎年 10% の予算カットが前提となるなら、実質的なイベント廃止勧告と受け取らざるをえない。市の方向性としてそれでよいのか。ぜひ議会からもお尋ねいただきたい。
- 観光業界は 3 年にわたるコロナ禍で受けたダメージを未だ取り戻す段階にある。足元の業績は回復傾向にあるが、過去に受けた負債を取り戻しているにすぎない。失った物を取り戻すには、同じだけの期間が必要。引き続き行政による支援が行われるよう、議会からも後押しをお願いします。